

# Society 5.0を通じたSDGsの達成と日本企業の社会貢献活動



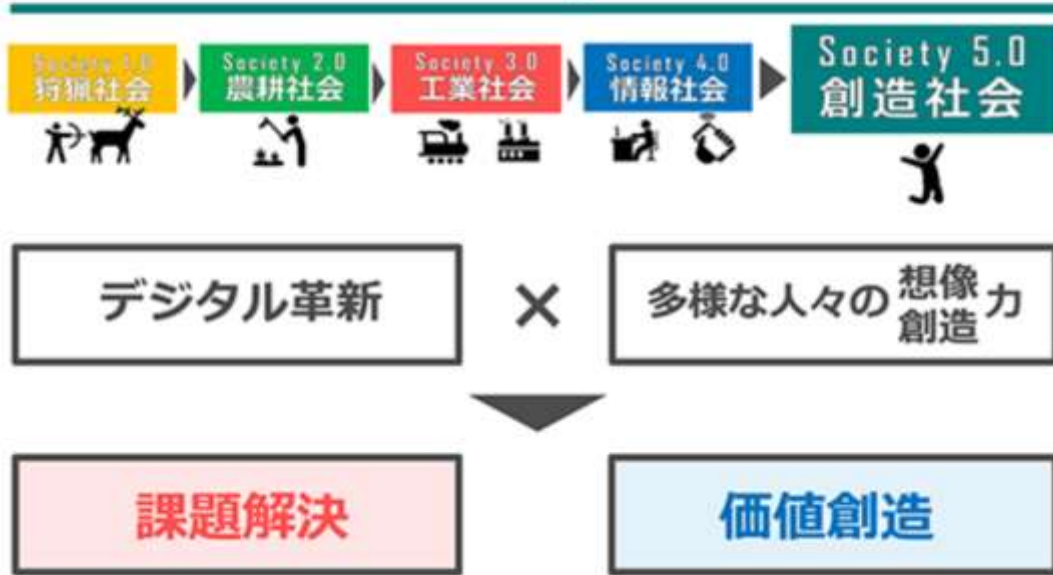
2023年11月30日

(一社)日本経済団体連合会

SDGs本部長 池田 三知子

## Society 5.0 for SDGs = イノベーションを通じて達成する新たな未来社会

### Society 5.0



経団連 Society 5.0 -ともに創造する未来-より



## 企業行動憲章

—持続可能な社会の実現を目指して—

1991年9月14日制定

2017年11月8日改定

企業は、公正かつ自由な競争の下、社会に有用な付加価値および雇用の創出と自律的で責任ある行動を通じて、**持続可能な社会の実現を牽引する役割を担う**。そのため企業は、国の内外において次の10原則に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしていく。

1. 持続可能な経済成長と社会的課題の解決

2. 公正な事業慣行

3. 公正な情報開示、ステークホルダーとの建設的対話

4. 人権の尊重

5. 消費者・顧客との信頼関係

Keidanren  
Japan Business Federation



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

6. 働き方の改革、職場環境の充実

7. 環境問題への取り組み

8. 社会参画と発展への貢献

9. 危機管理の徹底

10. 経営トップの役割と本憲章の徹底

- 成長戦略であるSociety 5.0 for SDGsを実現するうえで、次世代を担う子供や若者の健康は重要
- 「ユニバーサルヘルスカバレッジの達成」は、SDGsゴール3「全ての人に健康と福祉を」のターゲット



- すべての産業分野の企業がSDGsゴール3の実現に向け取り組んでいる。
- 官民をはじめとするステークホルダーとの連携が企業のイノベーション創出力を活性化  
特に、民間セクターのイノベーション創出を官が後押しすることに期待



【経団連SDGs特設サイト】  
会員企業によるSDGs  
貢献の取り組みを紹介



感染症対策を備えた建築  
「Pandemic Ready」



安全できれいな水を  
途上国に供給



結核撲滅に向けた  
AI画像診断サービス



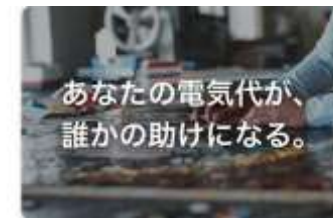
## 8. 「良き企業市民」として、積極的に社会に参画し、その発展に貢献する。

### 【経団連の取り組み】

1991年、経団連は経常利益の1%以上を社会貢献活動に充てることに努める趣旨に賛同する企業からなる「1% (ワンパーセント) クラブ」を設立。\* 時代に合わせて組織形態を変えながら活動。経団連は社会貢献活動に関するシンポジウムや会合、情報提供等を実施。



### 【日本企業の取り組みの例】



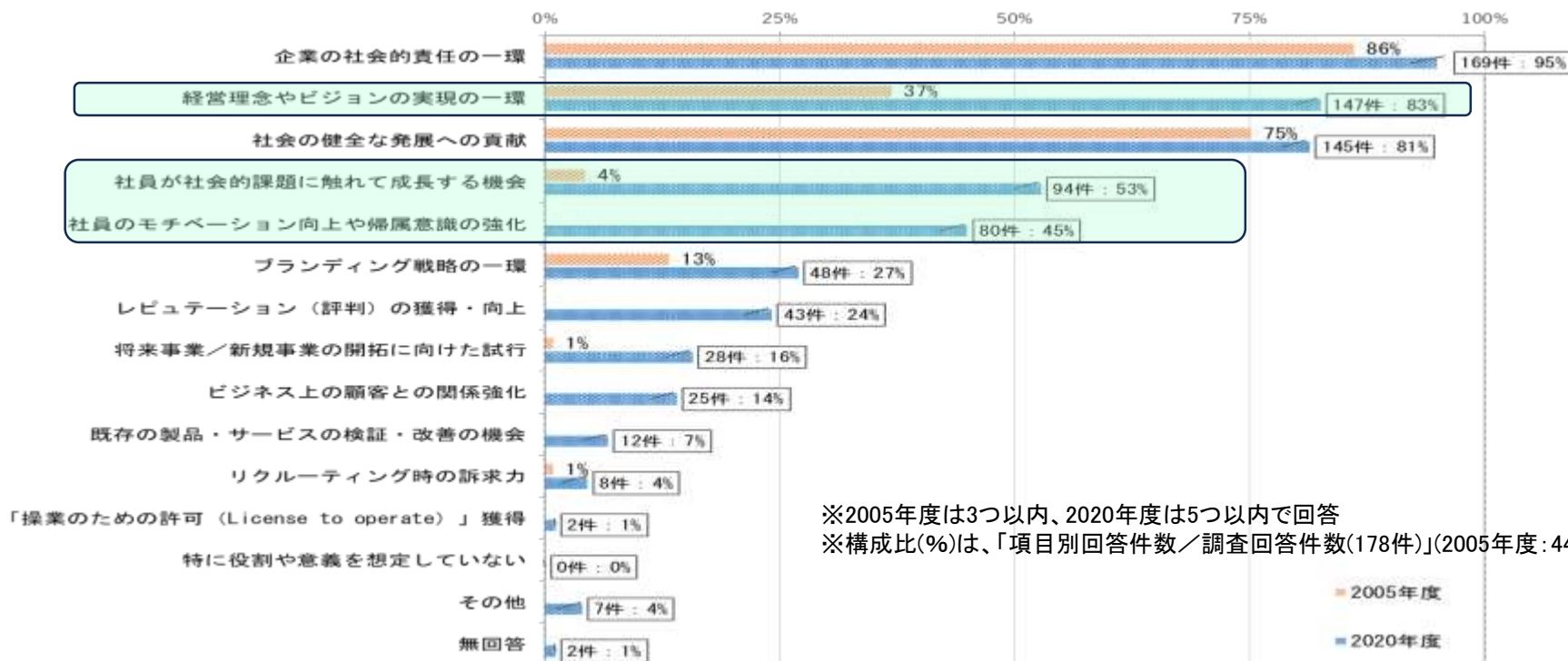
\*病院や美術館、研究助成財団の設立

\*災害被災地に対する寄付やボランティアの派遣

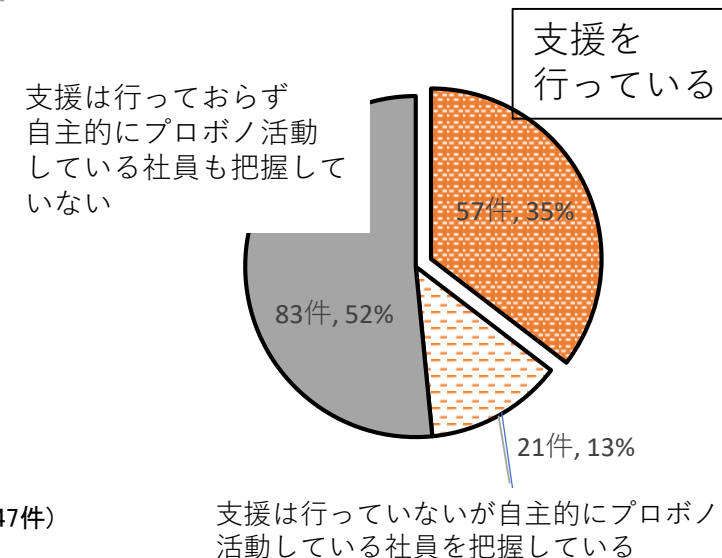
\*子供向けの出前授業  
\*寄付金付き商品・サービスの実践

- 多くの企業が社会貢献活動の役割や意義を「企業の社会的責任の一環」と認識。
- 15年前に比べて、「経営活動やビジョンの実現の一環」という回答が大きく増加。
- 「社員が社会的課題に触れて成長する機会」、「社員のモチベーション向上や帰属意識の強化の場」という回答も増加。
- 回答企業の35%が従業員のプロボノ活動に対する支援を実施。

【社会貢献活動の役割や意義】



【社員のプロボノ支援】



**Keidanren**  
Policy & Action

経団連はSDGsを支援しています。

